

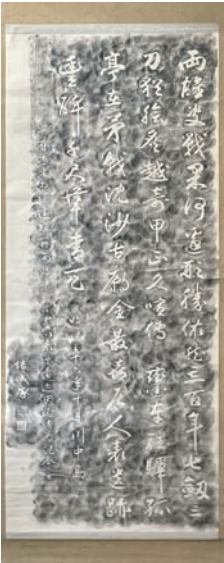
③ 櫻關詩鈔 上下  
 室直養漢詩集 (磐城平藩儒)  
 明治24年 7,000円



② 竹山国字讀 上下二冊  
 中井竹山講義 西村時彦編  
 明治44年 5,000円



① 売茶翁 帙入二冊  
 福山眺庵編 其中堂  
 昭和9年 23,000円



⑦ 結城蕃堂(琢) 碑文 拓本幅 総丈80×205㎝  
 「甲越直戦之地」の建碑を称賛した七言律詩  
 蕃堂は三宅竹隱、藤沢南岳、小野湖山に学ぶ 原拓  
 明治36年建立 四、〇〇〇円



⑤ 木国名勝詩誌 帙入上下二冊  
 津田香巖著  
 雪溪による紀伊国挿画多数  
 倉田績跋 明治30年 12,000円



④ 詩書評釋 四冊揃  
 長梅外著 (三州の父)  
 上中下十拾遺 中村敬字序  
 川田甕江跋 明治16年 8,500円



⑥ 塩松勝譜 全十冊 仙台 舟山光満年著 小圃六一他挿画  
 香雪精舎 明治40年 非売品 32,000円



⑩ 削觚廬印存 帙入2冊  
 吳昌碩 早年の篆刻印集 昭和  
 52年複製 書学院 10,000円



⑨ 印譜 梅竹印存 中林竹洞と  
 山本梅逸の印譜 表紙題書込  
 表紙、頁内虫損強め  
 ヤケ強 シミ有 3,000円



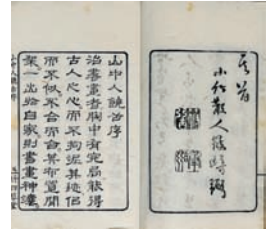
⑧ 水戸臨濟宗大徳寺派常照寺 所用印譜  
 実押42印 (重複有) 卷世敬峯和尚、  
 第七世春峯宗元、九世実通宗格所用印他  
 青いシミ有 8,000円



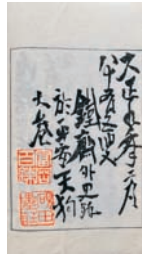
⑬審定 近世名家書画買附  
 袋付二枚 一枚30×39㎝  
 応挙は一両二分 「雪鴻」印有 8,000円



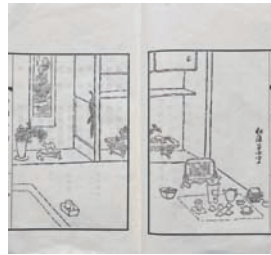
⑫閑中画題 山水部  
 円龍雲阿編 嘉永5年  
 中林竹洞・月道人序  
 春夏秋冬雑の画題を収録 4,000円



⑪山中人饒舌 上下  
 田能村竹田著 篠崎小竹評  
 前川善兵衛翻刻 小竹・角田九華序  
 呉策書 寺西易堂題字  
 呉策・後藤松蔭跋 袖珍本  
 明治12年 ヤケシミ 10,000円



⑮角山簞篋翁薦事図録 上中下  
 山中簞堂編 山中吉郎兵衛 大正11年  
 富岡鉄斎・近藤南州序他会毎に違う序文や題字  
 が入っている。 35,000円



⑭亦復一楽茶会図録  
 越智武一編 田能村竹田の「亦復一楽帖」の  
 臨画成就を記念し、竹邨が開催した茶会の記  
 大正7年 10,000円



⑰水野華陰女子雑画  
 表紙25×35㎝ 表紙に「明治26年華陰」と有  
 花鳥画模写13図 以降達磨など13図（絵柄が変わ  
 るため幼少期写か） 紀州新宮城主夫人 4,000円



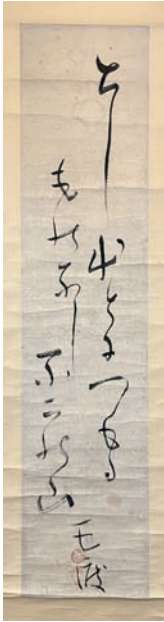
⑯耕香館面贖  
 瀧和亭編 大倉孫兵衛  
 明治43年 4冊揃  
 帙付 四五〇〇〇円



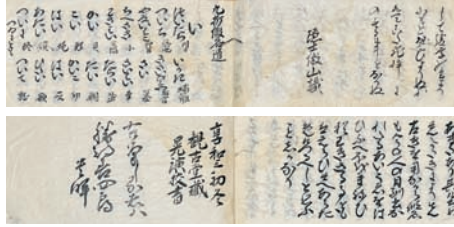
⑰浅井柳塘 山水画賛扇子  
 肉筆 貫名海屋、木下逸雲らに学ぶ 10,000円



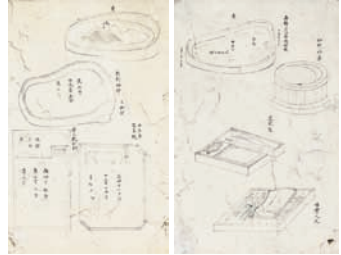
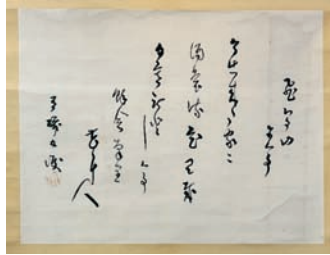
⑱田中柳江 竹画賛扇子  
 肉筆 京都生の兩画家 6,000円



⑳五渡 句幅(初代) 代村(熊谷) 生まれの俳人 葉種商大和屋主人  
 総丈45×175 署名は「五渡」  
 八〇〇〇円



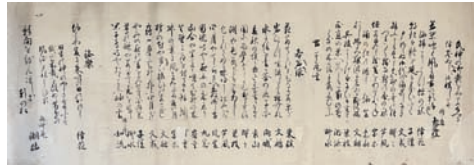
㉑五渡 句幅(二代か)  
 総丈76×150 署名は「有磯五渡」  
 6,000円



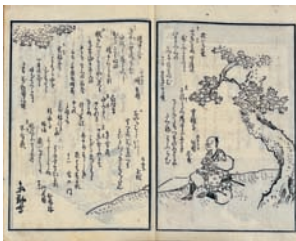
㉒写本 古図類 調度部文房器具  
 高嶋千春(土佐派の画家)の古図類  
 従を写したもの 虫損多し、裏打  
 10丁 3,000円



㉓金毘羅参宮刷物  
 開いた状態で23×33 種  
 三図に展開 ヤケシミ、汚れ  
 二、五〇〇円



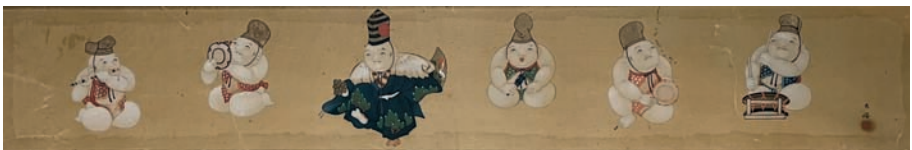
㉔連句 氏神の御輿をやすめ給える花火ぬしを祝して  
 肉筆 38×108 種 外周ヤブレ、イタミ有  
 山形県酒田市の俳諧連句  
 精々盧兎烏伍・雨柳庵潮路他  
 6,000円



㉕摘葉集 三・四輯一冊  
 和歌集 江戸末期 三輯選  
 者は月廼門秋澄・春友亭梅  
 秀 四輯選者は琴通全人  
 春友亭梅秀 春柳齋南鄰画  
 八、〇〇〇円



㉖浦谷義春註解 律例図解  
 銅板絵入 浦谷義春註解  
 笹木芳滝挿画 明治11年  
 シミ、虫損有  
 犯姦に関する条例集一強姦  
 するものは懲役十年なり  
 二、一〇〇〇円



㉗佐々木古桜 御所人形三番叟  
 131×21 種 扁額はがし 京都生まれの大和絵画家 河鍋晓斎は祖父にあたる  
 絹本 イタミ強、一部ヤブレ有 10,000円

㉘写本 九折仮名遣  
 三条西表陰書の写しと思われる  
 横本30丁 巻頭より「天保  
 八年、勝部朝矩」の識語→  
 「隠士徹山」の識語→九  
 折仮名遣」→「仮名遣相伝  
 之事」→巻末に「享和三  
 年初冬観古堂蔵見演校書」そ  
 の横に書写人として「勝部  
 善四郎」と有  
 一〇、〇〇〇円